

静寂

この公園は開花予報より三日早く開花した。予報は地域ごとで報じるべきではないか。現在、目の前の桜はすでに、満開といってよい。早朝の光景は誰一人おらず、華やいだ雰囲気ではなく、静かに咲いている。といった感じである。都心の騒音もなく、人の話し声もなく、野鳥の鳴き声すらない、静かに花開いている。過去の思い出に、突然、風の無いのに、花弁が枝からひらひらと散り、ところが、その花びらの一つが、上に舞い上がり、なぜ？一瞬思い、よく見ると、モンシロチョウでした。おそらく、花に止まった瞬間、散ったため、驚いて、飛び上がったのでしょう。公園の帰りに、竹取公園に寄り、桜を見ていると、”ノドアカ監視木”という札がかかっていた。何の事だろうと、調べてみると、”ノドアカツヤカミキリムシ”の事で、今、桜の害虫として被害が広がっているそうで、桜自身も、色んな障害を乗り越えて、花を咲かせているのだということを知りました。私は、花に埋もれながら、たたずみ、もう何回、こんな満開の光景を眺めたのだろうか、そして、あと何回眺められるのだろうか、考えに浸った。